

令和7年度 施策評価シート

施策の大綱	2. 健康で生きがいを持てる暮らしの充実	評価担当者
基本施策	(1) 健康づくりの推進と地域医療の充実	健康福祉部長 豊田 昌子
目指す姿	市民一人ひとりが、生き生きと健康に暮らしています。	
関連する分野別計画	亀山市健康まちづくり計画	

■SDGs

基本施策に関連するSDGsのゴール	 
SDGs推進の考察	健康都市連合日本支部の支部長市(R7.7まで)として、総会・大会の運営を行うとともに、政策連携検討部会やブロック会議、アプリdeウェルネス推進事業における商品連携等を通じ、加盟自治体等との連携を深めた。また、かめやま健康都市大学やかめやまらごと健康プロジェクトをはじめとした市の事業に包括連携協定の締結事業所やセルフケアフード協議会等の参画を得ることで、パートナーシップの強化を図り、市民の健康づくりにつなげた。

■関連する主な事業

(単位:千円)

施策の方向	事業名	上段:予算額 下段:決算額	実績・成果等
①	健康都市大学創設・運営事業	2,210 2,051	令和7年度もかめやま健康都市大学を運営し、合計207名の受講者のうち116名が修了、3年間で通算84名が健都サポーターとして登録した。健都サポーター育成や地域の健康活動拡大に向け、アドバイザーを設置し、健サポ会議やWG活動等を通じた育成支援を行った。
①	アプリdeウェルネス推進事業	5,040 4,694	令和5年度から健康マイレージアプリのデジタル化と運用を開始し、個人の健康習慣づくりを促進した。市制20周年記念イベントや特産品交流事業を実施し、地域の健康意識向上とまちへの愛着醸成に寄与した。さらに、「かめやまらごと健康プロジェクト」を推進し、市民の主体的な健康活動を支援している。
③	がん検診推進事業	90,323 88,448	個別・集団検診やピロリ菌検査を計画通り実施し、インターネット予約や休日の検診日の設定等により受診しやすい環境づくりを構築できた。中学生に対しピロリ菌尿検査や除菌治療費用助成を実施することで、胃がんや胃潰瘍の予防につなげることができた。
③	特定健康診査・特定保健指導事業	39,128 36,136	被保険者の生活習慣病予防や重症化予防を図ることで、医療費の適正化につなげるため、市民が利用しやすい特定健康診査や特定保健指導の環境整備及び勧奨を行い、受診率や利用率の向上を図った。
③	がん患者支援事業	1,186 424	医療用ウイッグ等購入費助成金は22件交付し、がん患者を支援し、療養生活の質の維持・向上を図ることができた。広報やホームページ、地域がん診療連携拠点病院等への情報提供により制度の認知度向上と利用促進を図り、対象者への周知を実施した。
④	三重大学亀山地域医療学講座支援事業	21,200 21,200	寄附講座設置協定に基づき三重大学へ寄附を行い、市立医療センターへ常勤医師が派遣されたことで、地域の安定した医療提供体制を確保することができた。
④	滋賀医科大学スポーツ・運動器科学共同研究講座支援事業	25,085 25,085	共同研究講座設置協定に基づき、整形外科常勤医師を配置したことにより、地域医療体制の強化を図ることができ、患者への医療サービスが充実し、質の高い医療を受けられる環境が整った。また、運動器疾患に対する研究・啓発が図られた。
⑤	予防接種費用助成事業	14,383 10,451	予防接種費用助成を実施し、接種者や保護者の経済的な負担を軽減し、より多くの人が接種を受けやすくなり、結果として地域全体の公衆衛生の向上に寄与することができた。健康づくりのてびきや広報等で情報発信を行ったことに加え、市民と直接接する機会を活用し周知啓発を行ったことにより、市民が感染症や予防接種の重要性を理解することで、市民の健康保持・増進につなげることができた。
⑥	病院総合情報システム更新事業	21,204 21,203	病院総合情報システム保守業務委託により、安定的な稼働と医療事務の円滑化が図れ、患者サービスの向上につなげることができた。
①	保険衛生一般事業	2,538 2,469	愛知県大府市等と連携して健康都市連合日本支部総会を運営し、多くの健都サポーターと共に参加し、他市事例に触れることができたことに加え、健康都市の考え方を大きく浸透させることができた。また、市制施行20周年記念事業として夏期巡回ラジオ体操を開催することでまちへの愛着・誇りの醸成やまちの活性化等を図れた。他市町の保健師との連携体制を引き続き整えた。
③	高齢者人間ドック・脳ドック事業	3,209 3,042	人間ドック30人(定員30人)、脳ドック97人(定員100人)の受診があり、後期高齢者被保険者の疾病の早期発見や健康管理に寄与し、医療費の適正化に努めた。また、要精密検査の結果の人には医療専門職が電話確認し、精密検査の結果を把握するとともに、未受診者への受診勧奨を行う等のフォローアップを実施した。
③	健康増進事業	9,190 8,781	検診事業を実施し、歯周病検診287人、肝炎ウイルス検診319人、骨粗しょう症検診410人が受診し、疾病の早期発見につなげることができた。
③	特定健康診査事業	39,128 36,135	特定健康診査に係る自己負担額の無償化及び実施期間の延長を継続するとともに、未受診者の特性に合わせた通知を2段階で実施し、受診勧奨を図った。かめやま健康セミナー、広報及び行政情報番組並びに加入手続時のリーフレット配布により周知啓発を行った。
④	救急医療対策費	10,186 9,975	一次救急医療体制事業及び年末年始歯科在宅医制医療対策事業の契約を締結し、安定的な一次救急体制を確保することができた。
⑤	予防衛生事業	58,939 51,913	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために公衆衛生の見地から予防接種を実施したことにより、市民の健康の保持に寄与した。

太字:主要事業

■成果指標

指標			現状値		実績値				目標値
	単位	R4			R5	R6	R7		
1	健康マイレージの延べ参加者数	人	908	R2	977	1,123	1,555	955	4,000
2	特定健康診査の受診率	%	34.7	R2	40.4 (確定値)	42.3 (確定値)	42.3 (確定値)	42.0 (速報値)	65.0
3	がん検診の受診率(胃がん)	%	28.8	R2	25.2	25.9	25.0	24	30.5
4	がん検診の受診率(肺がん)	%	25.0	R2	24.9	26.2	26.9	25.9	27.0
5	がん検診の受診率(大腸がん)	%	23.7	R2	26.5	26.8	27.2	25.9	25.5
6	医業収支比率	%	86.8	R2	84.59	90.38	87.9	80.6	99.8
7	国民健康保険事業における被保険者1人当たりの医療費	円	398,389	R2	457,063	472,900	457,254	489,615	396,000
8	後期高齢者医療事業における被保険者1人当たりの医療費	円	779,330	R2	735,136	761,414	730,198	780,077	725,000

■市民アンケート調査

項目		現状値 [R2]	1次 [R5]	2次 [R6]	市民アンケートの考察 (令和6年度施策評価内容を参考記載)
1	健康教室や各種検診の内容が充実している	重要度 1.27	1.42	1.29	
		満足度 0.42	0.55	0.46	
2	医療機関が充実している	重要度 1.54	1.61	1.58	
		満足度 ▲ 0.39	△ 0.17	▲ 0.32	
3		重要度			
		満足度			

■施策推進「施策の方向」

施策の方向	施策推進に関する考察
① 「健康都市」の推進	健康都市大学を通じた市民のヘルスリテラシー向上、健都サポーターの育成、アプリdeウェルネス推進事業による主体的な健康活動の実践により、健康都市の推進を図った。
② 健康な暮らしの支援	歯と口腔の健康づくりのため、歯周病検診を実施するとともに、市内の食品小売店と連携したかめやま健康弁当の発売を通じ、健康的な食習慣づくりの意識啓発を図った。
③ 疾病予防と重症化予防の推進	健康づくりのてびきや健康教室等で健診啓発を図りながら、インターネットによる予約、休日の健診日の設定等を引き続き実施するとともに受診可能医療機関の確保に努めた。
④ 地域医療体制の強化	三重大学地域医療学講座、滋賀医科大学との共同研究講座を継続し、市立医療センターの医師確保を行った。また、ICTを効果的に運用し医療・介護の多職種連携強化を図った。
⑤ 感染症対策の推進	医師会と連携し、任意予防接種費用の一部助成や定期接種を実施することで、地域における感染症の流行予防や個人の重症化予防に努めた。
⑥ 医療センターの機能強化と経営健全化	常勤の整形外科医師の配置等による診療体制の充実や、給食用の小型リフト等更新による機能強化を図り、安定的な医療の提供と経営健全化に努めた。
⑦ 安心できる公的医療保険制度の運営(国民健康保険事業)	新設される子ども・子育て支援納付金分による負担増や財政運営を考慮の上、令和8年度国民健康保険税率の改正を行うとともに、電話催告等による収納率向上に取り組み、国民健康保険事業の健全経営に努めた。
⑦ 安心できる公的医療保険制度の運営(後期高齢者医療事業)	居所不明等の理由により保険料の滞納が蓄積していた被保険者の実態調査を戸籍住民グループと連携して実施することにより、新たな滞納の発生防止に取り組み、後期高齢者医療事業の公平かつ健全な運営に努めた。

総合評価

「「健康都市」の推進」及び「健康な暮らしの支援」については、かめやま健康都市大学第三期を開講し、受講生をはじめとする市民に主体的な健康づくりや健康都市の考え方の浸透を図ることができた。また健都サポーターアドバイザーを新たに設置し、健都サポーターの効果的な育成や地域での自立した活動に向け支援することで、地域での主体的な健康活動につながった。「けんこうマイレージアプリ」を運用することで、市民の健康習慣づくりにつながった一方で、令和8年1月の新アプリへの移行を行わなかったユーザーがあり、目標値を下回る結果となった。また、ウォーキングとラジオ体操を核とした、市域全体で健康を促進する「かめやままるごとプロジェクト」を実施し、市民の主体的な健康活動の促進に寄与した。「疾病予防と重症化予防の推進」については、インターネット予約や休日の検診日の設定により、受診しやすい環境づくりを構築できたことに加え、無料クーポンやナッジ理論を活用した受診勧奨により受診機会を提供することで、がん予防に関する知識の普及や早期発見早期治療につなげるよう努めたが、受診率は横ばいの状態が続いており、胃がん・肺がん検診においては目標値を下回る結果となった。「地域医療体制の強化」及び「医療センターの機能強化と経営健全化」については、三重大学との寄附講座及び滋賀医科大学との共同研究講座等により、市立医療センターの診療体制の確保と経営健全化につなげた。「感染症対策の推進」については、医師会と連携し、任意予防接種費用の一部助成や定期接種、結核検診を実施することで、地域における感染症の流行予防や個人の重症化予防に努めた。「安心できる公的医療保険制度の運営」については、国民健康保険事業において、保険税率の改定等により財源確保を図るとともに、医療費の適正化に向け、市民が利用しやすい特定健康審査や特定保健指導の環境整備等を行い、安定的な事業運営に努めた。また、後期高齢者医療事業においても、健全な運営を図るため、三重県後期高齢者医療広域連合と連携・協力し、保険料の収納率向上や高齢者の疾病予防等に取り組んだ。

B

まずまず進んだ

今後の展開方針

かめやま健康都市大学については、創設期を経て発展期に入り、まちづくりや協働等と健康を掛け合わせた講座を設定するなど、段階的な範囲の拡大とともに、新規受講者の獲得に向けた取り組みを展開していく。健都サポーターについては、サポーター間の交流を進めるほか、アドバイザーによる効果的な育成や地区担当保健師が地域とサポーターをつなぐことで活動範囲を広げるとともに、地域の健康活動の拡大に向け取り組んでいく。アプリdeウェルネス推進事業については、アプリだけに留まらず個人の健康活動を地域全体の健康活動につながるよう、新たな展開を検討する。国民健康保険事業及び後期高齢者医療事業については、医療費の適正化に向け、引き続き、特定健康審査の受診率向上を図り、疾病予防や重症化予防に努める。また、健全な事業運営のため、保険料(料)の収納向上等に努め、財源確保を図る。